

しまねの森林



【森林基幹道笹山山入線（島根県鹿足郡津和野町）】

- P2 森林のトピックス① 平成29年度島根県林業施策の概要／島根県林業課・森林整備課
- P3 森林のトピックス② 「全国植樹祭」のご紹介／島根県 林業課 全国植樹祭準備スタッフ
- P4 森林のトピックス③ 森林のニューフェイス／島根県林業労働力確保支援センター
- P5 森林のトピックス④ 各種表彰者（森林・林業分野）をご紹介します！／島根県林業課林政企画グループ
- P6 森林へ行こう³⁵ 鼻高山（出雲市）
- P6 森林の知恵袋¹² 国宝・松江城のナンジャモンジャの木／島根県林業課 林業普及スタッフ
- P7 森林のトピックス⑤ “山のみち” 笹山山入線が全線開通します！
～林業の成長産業化と地域活性化の基盤として～／島根県益田県土整備事務所 治山・林道課
- P8 森林のトピックス⑥ 鳥獣対策を見据えた集落ぐるみでの里山森林整備／島根県東部農林振興センター雲南事務所
- P9 森林の研究 アライグマを効率的に捕獲するには／島根県中山間地域研究センター 農林技術部 鳥獣対策科



NO. 43

平成29年3月 通巻283号

2017『しまねの森林』フォトコンテスト 作品募集中！

平成29年度島根県林業施策の概要

島根県林業課・森林整備課

島根県では、持続的な森林経営の実現と森林の多面的機能の発揮を促すため、木を「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を目指しています。ここでは、平成29年度の主な施策を紹介します。

		H29予算(H28補正含む)
伐 っ て	●原木の増産対策 ①循環型林業に向けた原木生産促進事業 ・主伐促進のため森林所有者の主伐に要する経費の一部を助成 ②森林の循環整備推進事業（原木搬出作業道開設） ・主伐に必要な作業道の開設経費を助成 ③新農林水産振興がんばる地域応援総合事業 ・林業機械の導入、素材生産技術者育成、間伐材の搬出の支援	92百万円 20百万円 40百万円
	●木質バイオマス集荷対策 ①木質バイオマス県内全域集荷体制支援事業 ・木質バイオマスの集荷、乾燥に必要な山土場・作業道の整備を支援	54百万円
	●木材産業の体制強化 ①新農林水産振興がんばる地域応援総合事業 ・製材技術者育成確保、既存施設の改良、販路開拓を支援 ②木材生産流通対策事業 ・県産材販路拡大のため、県内製材工場25社による「木材製品県外出荷しまね事業体連合」を主体とした県外での展示・商談会の出展	26百万円
	●木材の需要拡大 ①木の家ですくすく子育て応援事業 ・子育て世帯が県産木材を使用した住宅等の新築、増改築等を行う場合に工事費の一部を助成	120百万円
使 っ て	●森林整備の推進 ①造林事業（新植・保育） ・新植や下刈り、除伐等の育林に対し助成 ②森林の循環整備推進事業（新植支援） ・国補・造林事業（新植）の補助残に県が上乗せ助成 ③新農林水産振興がんばる地域応援総合事業 ・苗木生産施設整備、低コスト再造林推進を支援	745百万円 68百万円 (再掲) 40百万円
	●林業・木材産業の基盤づくり 間伐材利用促進、作業道整備、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設等整備、木造公共施設整備等を支援 ①林業・木材産業成長基盤づくり事業 ②森林整備加速化・林業再生事業	1,766百万円 129百万円
	●森林整備地域活動支援交付金 計画的な森林整備を推進するために、森林経営計画の作成、境界明確化等を支援	87百万円
育 植 て る	●水と緑の森づくり事業 荒廃森林の再生、県民参加の森づくりを支援	203百万円
	●総合対策等	
対 担 い 策 手	●担い手対策 ①林業担い手育成確保対策事業【拡充】 ・新規就業者の技術研修支援、緑の青年就業準備給付金など	56百万円
	●特用林産物の生産振興 ①きのこの里づくり事業 ・栽培ハウス、菌床製造施設等の新設・改修等	43百万円
産 特 用 物 林	●全国植樹祭準備費 本県での第71回全国植樹祭（平成32年春）の開催に向けた準備	16百万円
	●全国植樹祭	



「全国植樹祭」のご紹介

島根県 林業課 全国植樹祭準備スタッフ

平成28年8月10日、公益社団法人国土緑化推進機構の理事会において、第71回全国植樹祭（平成32年）の島根県での開催が内定しました。本県での全国植樹祭開催は、昭和46年以来49年ぶり、2回目となります。

県では、平成28年11月に準備委員会を設置して、現在、開催理念等の基本的な事項を内容とする「基本構想」の検討を進めています。今回は、全国植樹祭の概要を紹介します。

【全国植樹祭とは】

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により実施する国土緑化運動の中心的な行事です。

昭和25年4月に山梨県で開催されて以来、各都道府県の持ち回りによって毎年春季に開催されています。大会では、県内外から多くの参加者を迎え、式典行事や記念植樹等が行われています。



平成27年5月に石川県で開催された第66回全国植樹祭

【島根県における全国植樹祭の開催状況】

昭和46年4月18日、昭和天皇・皇后両陛下のご臨席を賜り、大田市の三瓶山北の原において、第22回全国植樹祭を「多目的森林開発と環境緑化」を大会テーマとして開催しました。

この大会では、両陛下はクロマツをお手植えになるとともに、県内外からの1万5千人（運営関係者を含む）の参加により、6ヘクタールの広大な原野に約2万本のクロマツが植栽されました。



昭和46年4月に大田市三瓶山北の原において開催された第22回全国植樹祭

森林のニューフェイス

New Face

島根県林業労働力確保支援センター

「森林のニューフェイス」では、森林・林業のエキスパートとなるべく、島根県内の森林組合等林業事業体に就職し現場で活き活きと働く林業の担い手を紹介しています。



- ①林業に就業した動機は？
- ②林業に就業して良かったことは？
- ③仕事を始めた頃から変わったことは？
- ④林業に対するこれからの夢は？



福間 智行
(32才)

林業経験：5年 勤務先：しまね東部森林組合

- ①森林を守ることに意義を感じたから。都会での生活がつまらなかったから。
- ②ストレスフリー、良い職場の人達に恵まれた。
- ③森林を育てる事に対する意識。筋肉がついた。
- ④巨木がそびえる豊かな森を地域に作り上げること、そして、その豊かさを保ちつつ産業として、また地方創生の要として林業を確立させること。



山本 竜一
(25才)

林業経験：3年 勤務先：宍石州造林

- ①地元が緑に囲まれた環境で育ったので林業をしてみたいと思った。
- ②いろんな資格をとらせてもらったこと。他の職業では経験できないことをさせてもらっている。
- ③普段は使わないような筋肉を林業をするようになって使うようになった。
- ④先輩達に教わったことを自分が他の作業員に教えられるようになりたい。



藤田 直輝
(38才)

林業経験：7年 勤務先：(株)ふせの里

- ①前職の建設業の頃から林業をしたいと思っていたが縁あって今の会社に就職することができた。
- ②雨風に夏の酷暑冬の雪など自然が相手なので環境は過酷だが大自然を五感で感じとることが出来る。
- ③日々の作業に追われ余裕がなかったが、広い視野で取り組めるようになった。
- ④周囲に感謝される施業、そして貪欲にチェーンソー等の技術の習得を努力したい。



藤江 俊二
(20才)

林業経験：2年 勤務先：大田市森林組合

- ①興味があったから。
- ②色々な道具や機械が使って面白い。
- ③どこにいても、山を見るようになった。
- ④まだまだ経験が浅いし、周りの人に迷惑をかけることが多いので、自分の仕事に向上心を持ってやるようにする。



森林の中で働く人のお手伝いをします

- 1. 林業労働者の募集
- 2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
- 3. 林業就業促進資金の貸付
- 4. 林業雇用に関する情報の提供・相談
- 5. 雇用改善のための啓発活動
- その他の援助

島根県林業労働力確保支援センター（公益社団法人 島根県林業公社内）

松江市黒田町 432 番地 1(島根県土地改良会館 3F)

TEL(0852)32-0253 FAX(0852)21-4375 E-mail shimane-roukakuc@nifty.com



各種表彰者(森林・林業分野)をご紹介します！

島根県林業課林政企画グループ

このたび、森林・林業分野における長年の功績が認められ、下記2名の方が各種表彰を受賞されましたので、ご紹介いたします。

【島根県功労者表彰（農林水産）】

(受賞者) 北川 恒 夫 氏 (81) 出雲市 シカ被害対策協議会委員、出雲市猟友会理事



島根県功労者表彰は、多年にわたり功績が顕著であり、県勢の発展に大きな貢献があった方を知事が表彰するものです。

北川さんは、長年にわたり鳥獣の保護と被害対策に努め、鳥獣対策の向上に寄与したことが認められ、島根県功労者表彰（農林水産）を受賞されました。

北川さんは、出雲北山地域のニホンジカ対策において、島根県在職中から被害軽減のための捕獲活動を展開し、豊かな狩猟歴と厚い人望から地域のリーダーとして活躍するとともに、自らも多くの捕獲実績を上げ、同地域の生息頭数及び被害額の減少に貢献されました。

また、地域住民自らが防衛する必要性を訴え、同地域自衛班の結成を促し、その後自営班の結成が各地に波及するなど、鳥獣被害対策に大きく貢献されました。

【山陰中央新報社地域開発賞（産業賞）】

(受賞者) 山本 和 正 氏 (63) 出雲市 島根県林業経営者協会副会長

山陰中央新報社地域開発賞は、長年にわたり各分野で地域社会に貢献した人たちを、山陰中央新報社が表彰するものです。

山本さんは、所有山林約300haで先進的な林業経営に取り組み、地域林業の振興に寄与したことが認められ、山陰中央新報社地域開発賞（産業賞）を受賞されました。

山本さんは、①高密度作業路網の整備、②優良材生産、③100年の森づくりを目指した保残木マーク式施業、④多様な森づくりの4点を経営方針に掲げ、所有森林において実践するとともに、出荷材が市場で高く評価されるなど、自ら効果を実証されました。また、所有山林を地域の林業技術研修の場所として積極的に提供し、自らの研さんにより習得した技術や知識の普及に力を注ぐなど、地域の林業振興に大きく貢献されました。



「山陰中央新報社提供」



森林へ行こう 35

はな たか せん 鼻高山

出雲市／標高：536.3m



出雲北山地域は、弥山〔vol.19〕や旅伏山〔vol.29〕に紹介したとおり国引き神話において、「八穂米支支支の御崎」と呼ばれ、朝鮮半島の新羅の岬を引き寄せた土地と記されています。

鼻高山は、山岳ルーツ大辞典によれば、「鼻が先端のことで、尾根の先端に特徴があることによる山名」とあり、まさに出雲北山の中央に位置する最高峰であることを示す山名です。

また、鼻高山は島根半島の最高峰で、出雲平野のみならず半島を見渡す好眺望の頂きです。

出雲北山には、出雲大社裏の弥山から鼻高山を経て、東端の旅伏山に至る縦走路が、登山者に親しまれており、山々をつなぐそれぞれの谷には、かつて南北の生活をつないだ峠があって、今日、登山道として利用できる山道がたくさん張り巡らされています。

鼻高山には、一畑電車高浜駅北側の客垣谷から鳶岩、矢尾峠を



東側の縦走路から望む鼻高山

を経て縦走路に至り山頂に向かうコースが一般的ですが、神門谷から山腹の采坂神社を經由して山頂直下に至り山頂に向かうコースや、西林木の伊努谷から伊努谷峠を経て縦走路に至り山頂に向かうコース、北側の鱒淵寺から矢尾峠や伊努谷峠を經由するコースなどもあります。更に、南側山腹の標高約50メートルあたりには、美保関と出雲大社を結ぶ古道の一部が復元されて天平古道と名付けられた山道も横切っています。

出雲北山の南側に並走する一畑電車や国道431号線なども利用し、登山口と下山口を自由に選択して、多彩な組み合わせを楽しむことができます。【所要時間:約100分（客垣谷コース）、登山適期:通年】

鼻高山は、出雲北山の盟主として地域の登山者に人気の秀峰です。〔内藤暢文〕



縦走路と交わる矢尾峠

森林の知恵袋 12

■ 国宝・松江城のナンジャモンジャの木

島根県林業課 林業普及スタッフ

国宝・松江城がある松江城山の一角に「ナンジャモンジャ」という木がある。

堀端から城山の中の周遊歩道をぐるりと散策していると、まか不思議な呼び名で呼ばれるこの木に巡り会える。もちろん正式な名前ではない。モクセイ科ヒトツバタゴ属の落葉高木、「ヒトツバタゴ」という木である。「原色牧野植物大図鑑」（牧野富太郎著）にも「珍木でナンジャモンジャノキともいうが正しい名ではない」と記されており、この木がどうして「ナンジャモンジャ（ノキ）」と呼ばれてきたのか興味が湧く。

「樹木の島根方言」（沖村義人著）には、そもそも最初に「ナンジャモンジャ」と呼ばれたのは千葉県香取郡の神埼神社の境内にあったクスノキで、地元の人々はクスノキであることを承知しながら、この木を尊崇するあまり俗称をつけることをはばかったのと、狂言の文句に「ナンジャ」「モノジャ」と言う問答があり、これに基づく理由とによってナンジャモンジャと名付けたのだという柳田国男氏の説が紹介されている。この後「ナンジャモンジャ」という名は主に関東地方を中心に広まっていき、クスノキに限らず、樹名不明のものにつけられることとなったようだ。ヒトツバタゴを「ナンジャモンジャ」と呼ぶようになったのもこの流れであり、ことこの木に関してだけは、別名とし

て世に名が通るほど広く使用されたという。

ヒトツバタゴは、我が国では自生が極めて限られており、雌木でないと結実せず、発芽も生育も悪く、その上挿し木・接ぎ木もほとんど不可能（根接ぎは可とのこと）であるため大変珍しい木だ。



松江城山のヒトツバタゴ

郷土資料「なんじゃもんじゃ物語」（錦織明著）によると、この城山の「ナンジャモンジャ」は、韓国全羅南道光州の道庁に当時勤務し、荒廃した韓国の山々への植林に取り組みされた松江市奥谷町出身の杉坂治氏が、昭和15年に退職して帰国する際に持ち帰った苗木を松江市に寄贈されたものとのこと。

毎年5月上旬に白い小花が咲きこぼれるこの木には、「Chionanthus（雪の花）retusus」という学名が付けられており、韓国では「ご飯の木（イバナム）」と呼ばれている。松江城山の散策の折には、このような由来に想いをはせながら、「ナンジャ？モンジャ？」と探してみられてはいかがだろう。

“山のみち” 笹山山入線が全線開通します！

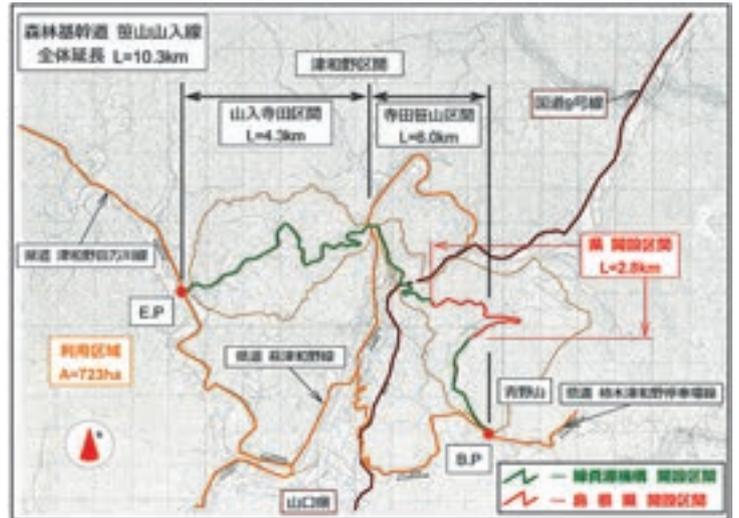
～林業の成長産業化と地域活性化の基盤として～

島根県益田県土整備事務所 治山・林道課

●【路線の概要】と【開設の経緯】

今回開通する森林基幹道笹山山入線は、鹿足郡津和野町笹山地内の一般県道柿木・津和野停車場線を起点として北西に進み、寺田地区で津和野川を渡河し、さらに西方向へ進み同町部栄の主要地方道津和野・田万川線に接する地点を終点とする森林基幹道です。

この路線は、林野庁が昭和48年に策定した『大規模林業圏開発基本計画』を基に、長期的・総合的な地域開発を目的とし、平成9年から事業着手されました。大規模林業圏開発林道の山陰ルート【波佐・阿武線】の一部である【津和野区間】として森林開発公団、緑資源機構（現：国立研究開発法人 森林総合研究所 森林整備センター）により林道開設が進められ、平成20年度からは島根県が事業を引き継ぎ、今年度【森林基幹道笹山山入線】として全線が開通する運びとなりました。



●全線開通した【笹山山入線】の概要

	事業期間	延 長
全体区間	平成 9 年度～平成28年度	10.3km 【100.0%】
うち 緑資源機構開設分	平成 9 年度～平成19年度	7.5km 【72.8%】
うち 島根県開設分	平成20年度～平成28年度	2.8km 【27.2%】

〔林道の規模構造〕 幅 員：7.0m（全線 アスファルト舗装）
 主要構造物：橋 梁 1箇所（栗坪橋 51.5m）
 トンネル 1箇所（笹山トンネル 157.0m）
 〔利用区域の面積・蓄積〕 面積（森林）：723.43ha 蓄積（木材）：14.7万立方メートル

●期待される効果～【林業振興】と【地域の活性化】～

森林基幹道 笹山山入線の全線開通により、さらなる「森林整備の促進」、「林業による地域産業の振興」など林業の成長産業化の重要な基盤としての役割をはじめ、「農山村地域の生活環境の向上」、「森林レクリエーション等の森林総合利用の促進」、「災害時の迂回路」等が期待されています。



●おわりに…

笹山山入線は20年（うち県営開設分は約8年）の歳月をかけて全線開通を迎えることとなりました。この間、ご協力いただいた関係者のみなさまに紙面を借りてお礼申し上げます。また、引き続き各地で実施しております林道事業へのご理解・ご協力をお願いします。

鳥獣対策を見据えた集落ぐるみでの 里山森林整備

島根県東部農林振興センター雲南事務所

飯南町長谷地区では平成27年度から、長谷営農組合が中心となって集落ぐるみの鳥獣対策に取り組んでいます。対策の柱は組合員の鳥獣被害防止に係る意識の向上であり、集落内の被害マップの作成や電気柵設置研修などを行うことにより、農作物被害が減少する成果につながっています。

しかし、農地周辺の手入れが行き届いていない森林が野生動物の農地への侵入路となっており、未だ被害が出ている箇所があるため、集落ぐるみでの周辺の森林整備を検討しています。

集落ぐるみの鳥獣対策及び森林整備を一体的に行うことで、農業生産と林業生産のどちらにもメリットが期待できます。



電気柵研修会の様子

■被害対策のメリット

集落単位で鳥獣被害を減少させるためには、加害獣個体数減のための捕獲と農地への侵入を防止するための防護柵などの予防とを併せて行う必要があります。

特に、防護柵の設置については、一部でも未整備の箇所があれば、たやすく鳥獣の侵入を許すこととなりますので、集落を挙げた、つまりは住民全員での取り組みが重要となります。

これらの対策を講じることで、農業被害が減少し、農産物生産量が増加することで、生産者の収益は確実に増加します。

■森林整備のメリット

集落周囲の森林（里山）の手入れを進めることは、農地（人）と森林（動物）との間に緩衝帯を設けることとなり、鳥獣のねぐらの一掃や侵入経路の遮断に繋がります。

周囲森林の整備は、森林所有者である住民による自伐や竹林伐採を促進し、集落を挙げての木質バイオマス利用さらには用材生産に繋がり、地元森林組合が展開する森林施業の拡大にも貢献します。

また、耕作放棄地の活用についても集落内での議論が進み、活用に向けての検討が進むこととなります。

■今後に向けて

長谷地区では、平成29年度以降計画的に森林整備に着手することを検討中です。まずは県等の支援を受けて集落の一部から実施し、それを集落全体に普及・拡大し、いずれは集落単独での自立した活動を継続的に進めていく考えです。

飯南地域における、「地域ぐるみの鳥獣対策と森林整備」を一体的に行うモデル的な取り組み例となるよう期待しています。



斜面での電気柵の効果的な設置

県産木材の利活用おうえん隊



島根県建築士会 しまね木造塾 コアスタッフ一同

アトリISHUN
建築設計事務所 飴屋工房
宇佐美建築設計室
宇田川孝浩建築設計事務所
蔵本総建コンサルタント
コクーン設計舎

田中まさこ建築設計室
一級建築士事務所 田中屋工房
中村建築設計事務所
有限会社 万設計
村上建築設計事務所
渡邊建築工房株式会社



アライグマを効率的に捕獲するには

島根県中山間地域研究センター 農林技術部 鳥獣対策科

■アライグマの生息、被害の実態は？

「特定外来生物」に指定されているアライグマは、ペットとして輸入された個体が野外に放されたことなどによって、全国的に増加し問題になっています。

島根県では、2004年に初めて益田市で捕獲されました。近年は、益田市を中心に200頭/年程度の捕獲数で推移しています。これらの地域を中心に、ブドウやスイカなどの農作物被害と住宅の屋根裏に侵入する被害が発生しています。また、アライグマは繁殖力が高いので、早期の捕獲対策が重要です。

そこで、当センターでは効率的な捕獲方法の研究を行っています。今回は、アライグマの利用環境を明らかにするために行ったGPS発信機による追跡調査の結果を紹介します。

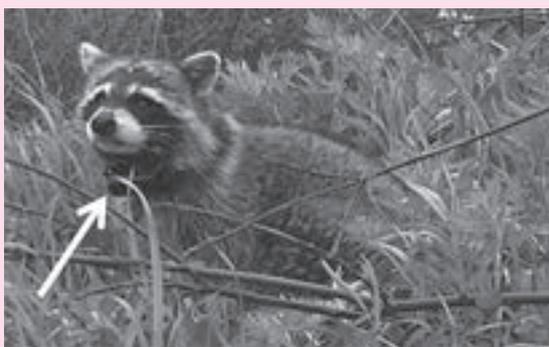
■アライグマの行動を追跡する

4頭（雌雄各2頭）にGPS発信機を装着して追跡しました。行動圏は、オスは13～14km²とメスの2～4km²に比べて広い範囲を行動しました。いずれの個体も夜間は主に水田や河川などの水辺を利用して、昼間は主に森林で休息していることがわかりました。捕獲個体の胃内容物からは、年間を通して水生昆虫やカニ類、カエル類、サンショウウオなどが検出されたことから、夜間はこれらの餌となる生物を探しながら水辺を移動していることが推測されました。

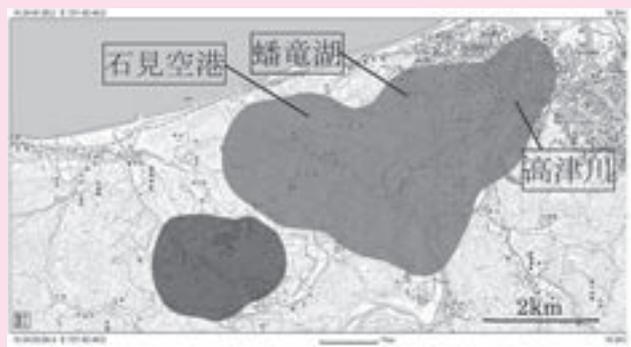
■今後の捕獲対策への活用

本調査によって、アライグマは水辺を頻繁に利用していることが明らかになりました。そのため、河川、水路、水田などの水辺にかごわなを設置すれば、効率的に捕獲ができると考えられます。また、アライグマの捕獲を推進するには、生息情報に基づく積極的な捕獲が必要です。そのため、島根県統合型GIS「マップ on しまね」には、アライグマの生息情報（アライグママップ）を公開しています。今後も新たな生息情報を発信していきますので、目撃などの情報提供をお願いします。

(研究員 小宮将大)



GPS発信機を装着したアライグマ



2頭の行動圏（左：メス、右：オス）

地球にやさしいカートカン

※国産材30%以上使用した紙製飲料容器です。

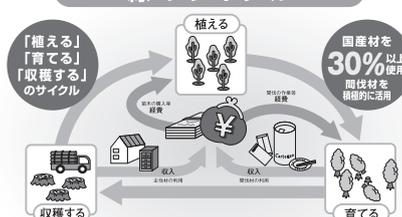


カートカン(紙製飲料缶)は
第三回エコプロダクツ大賞
エコプロダクツ部門
農林水産大臣賞受賞



●紙製飲料容器『カートカン』は
ストローいらずでゴクゴク飲めます!

緑のサイクル



pokka sapporo



お問い合わせは「自販機本部」
(03)5634-1621まで

ポッカサッポロフード&ビVERAGE株式会社
<http://www.pokkasapporo-fb.jp/>

県民の森へ行こう!

鳥根県民の森
飯石郡飯南町小田

4月~7月のイベント情報

県民の森では登山、木工教室等各種イベントを開催しています。自然や森とのふれあいの楽しさ、木の温もりを感じてください。

- ◆4月22日(土)
早春の県民の森~琴引山縦走
8:30 琴引フォレストパークスキー場集合
- ◆5月7日(日)
新緑のブナ林とイワカガミ満開
県民の森指谷山縦走
8:30 県民の森木工室集合
- ◆5月13日(土)
大万木山サンカヨウ観察と草峠縦走
8:30 道の駅頓原集合
- ◆5月21日(日)
新緑の森の散策、野草の天ぷらを食し野草茶を飲む
10:00 県民の森木工室集合
- ◆5月27日(土)
眺望爽快! 等検境縦走
8:30 雲南市吉田総合センター集合
- ◆7月22日(土)
トランクBOXを作ろう!
10:00 県民の森木工室集合

〈申込先〉 鳥根県立ふるさと森林公園 学習展示館
TEL 0852-66-3586

「森の誕生日 2017」にご来場

入場
無料

ください!

平成29年
4月29日(土) 9:30~15:00
ふるさと森林公園 (松江市宍道町佐々布)

主催

森の誕生日実行委員会 (鳥根県、松江市、(一財)宍道湖西岸森と自然財団、NPO法人もりふれ俱樂部、(公社)鳥根県緑化推進委員会)

内容

苗木無料配布、高性能林業機械の展示・実演、ステージ(コンサート、神楽他)、移動動物園、農林産物販売、飲食ブースなど

駐車場

JA鳥根中央家畜市場からシャトルバスにて会場までご案内します。

問合せ先

ふるさと森林公園

(森の誕生日実行委員会事務局)

TEL: 0852-66-2500

緑をはぐくみ 水をつくる 鳥根県水源林造林協議会

〒690-0886 松江市母衣町55番地

電話 (0852)24-1092

FAX (0852)61-4350

e-mail: suizoukyo.shimane@bird.ocn.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ

大和森林株式会社

代表取締役 松原正記

本社 鳥根県松江市東朝日町87番地6 〒690-0001

☎(0852)21-6222

営業所 鳥取、松江、益田、津山、三次

緑の募金

森林に
“あなたの思い”
届けます!

(公社)鳥根県緑化推進委員会
〒690-0886 松江市母衣町55 鳥根県林業会館内
TEL(0852)21-3049 FAX(0852)21-8231

東日本震災地域の森林復興を支援します



賛助会員を募集しています

森林の明るい未来に貢献する



しまね企業参加の森づくり事業



●鳥根県森林技術ボランティアサポート制度 第1号登録団体

鳥根県森林土木技術協会

鳥根県森林土木技術協会

〒699-0202 鳥根県松江市玉湯町湯町 147-1 鳥根県測量設計会館内

TEL 0852-62-0979 FAX 0852-62-0948

島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林を撮ろう!!

2017しまねの森林フォトコンテスト **検索**

☆詳しくは島根県農林水産部林業課HPをご覧ください。
こちらの募集要項も印刷できます。

2017『しまねの森林』フォトコンテスト

■テーマ「しまねの森林と木材」

島根県内の美しい森林風景や木材の利活用など、島根県の森林や木材の魅力を切り取ろう!

①美しい山や天然林・人工林、里山の風景、きのこや山菜等山の幸などを題材にしたもの②森林を育てる活動風景や木のおもちゃで遊ぶ子どもなど、森林と人とのふれあいを、木材と人とのふれあいを題材にしたもの③木材を利用した建築物の内装や外観など、木材の魅力や題材にしたもの
・上記①から③のいずれかの部門に合った写真を募集します。

■応募方法

必要事項を記入した応募用紙を作品の裏

側にセロテープでとめてご応募下さい。

■応募締切

平成29年7月31日(月)当日消印有効

■応募・お問い合わせ先

「しまねの森林」発行委員会事務局
〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
島根県林業課林政企画グループ
TEL 0852-22-5163

■表彰

最優秀賞 1点(賞状・賞金3万円)
優秀賞 2点(賞状・賞金1万円)
入選 3点(賞状・図書カード5千円)
佳作 5点(賞状・図書カード3千円)
※一応募者につき受賞は一点とします。
また、部門による区分は設けません。
主催/「しまねの森林」発行委員会

2017「しまねの森林」フォトコンテスト 応募用紙

住所 〒 _____

電話番号 () _____

フリガナ氏名 () 才

職業・学校名 _____

撮影場所 市・町・村 (大字) _____ (地内・山)

撮影日 平成 年 月 日 部門番号 _____

フリガナ作品タイトル _____

豊かな森を活かし地域に貢献する

島根県素材流通協同組合

〒699-2837 江津市松川町上河戸390-22 TEL:0855-55-0840 FAX:0855-55-0841
E-mail:shimanesoryuukyoku@aioros.ocn.ne.jp

しまねの木を活用した『森』からつながる『家』づくり



「しまねの木の家」づくり安心サポート

「しまねの木の家」推進センター(一般社団法人島根県住まいづくり協会内)
島根県松江市北田町35-3 建築会館内 TEL(0852)31-1282 <http://www.sumai.ne.jp/>



安全・安心・美味しい
日本産原木しいたけ栽培を応援します

一般財団法人 日本きのこセンター 三次支所

広島県三次市島敷町916-2
TEL 0824-63-1226 FAX 0824-63-2012

みんなの森を守ろう!

山陰の森林に関する活動をしているNPO法人やボランティア団体がネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開しています。

森林を守るぞ! 山陰ネットワーク会議

ホームページアドレス <http://www.mori-sanin-net.jp/>

事務局 山陰合同銀行地域振興部内 松江市魚町10 TEL.0852-55-1820



安心安全・美味しいキノコをお届けします。

- ・椎茸、舞茸、エリンギ
- 『美味しまね認証』取得
- ・椎茸菌新品種『雲太-1号』開発

有限会社 奥出雲椎茸
島根県仁多郡奥出雲町三沢 98-3
TEL 0854-54-2150
FAX 0854-54-2151

株式会社 舞茸奥出雲
島根県仁多郡奥出雲町八川 889-2
TEL 0854-52-0017
FAX 0854-52-3370

地域とともに豊かな森林を創る

農林中央金庫 中国農林水産環境事業部

岡山市北区磨屋町9番地18の101号 TEL (086) 222-0675

除草はおまかせ下さい!

竹類に効果抜群です!

○ **テゾレート**
非農耕地用除草剤

日本カーリット株式会社

九州営業所
福岡市博多区博多駅前1-4-4
☎ (092) 473-6521
FAX (092) 451-8195

クズ株処理剤

○ **クズコ** 液剤
1株一ワンプッシュ 経済的

野津善助商店

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10
☎ (0852) 53-0670(代)
FAX (0852) 53-0674
E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

『出雲の山城』

—山城50選と発掘された城館
山城50を厳選し、写真や縄張り図で詳しく紹介!
A5判 314P ¥1,800+税



ハーベスト出版 [機谷口印刷内] お近くの書店でお買い求め下さい。
TEL 0852-36-9059 FAX 0852-36-5889
URL <http://www.tprint.co.jp/harvest/> E-mail: harvest@tprint.co.jp 〒690-0133 島根県松江市東長江町902-59



広域

林業普及員研修 「高性能林業機械(実践)」

●日時：平成29年2月17日(金)
●場所：農林大学校（大田市）



県庁林業課
URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

松江

しまね農林水産業・農 山漁村「頑張っている リーダー」表彰式

●日時：平成28年11月15日(火)
●場所：島根県庁



東部農林振興センター
URL : http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/kikan/toubu_norin/ringyo/blog_cms/

雲南

森林・林業技術勉強会 ～森林計画制度、保安林制度、 森林施業とその技術～

●日時：平成28年12月21日(水)
●場所：雲南合同庁舎



東部農林振興センター雲南事務所
URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

出雲

木の価値を高める採材 研修

●日時：平成28年12月21日(水)
●場所：出雲市禰原町



東部農林振興センター出雲事務所
URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

浜田

伐採と再造林のガイド ラインに基づく協定の 締結に向けた検討会

●日時：平成29年1月16日(月)
●場所：石尖森林組合



西部農林振興センター
URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

県央

伐採と森林再生の低コスト 化に向けた民間事業者と 森林組合の連携協定調印式

●日時：平成29年1月19日(木)
●場所：大田市役所



西部農林振興センター県央事務所
URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

益田

伐採と再造林等の連携 協定調印式

●日時：平成29年1月30日(月)
●場所：益田合同庁舎



西部農林振興センター益田事務所
URL : http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/

隠岐

木材生産に向けた伐倒 研修

●日時：平成28年12月26日(月)
●場所：隠岐島前森林組合（隠岐郡海士町）



隠岐支庁農林局
URL : http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/

農林大

林業大学校への支援等 を林野庁長官に要望

●日時：平成28年11月24日(月)
●場所：東京都千代田区霞が関 林野庁



島根県立農林大学校林業科
URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>